

膀胱癌の患者さんへ

当院では、より良い治療を行うための

臨床研究を実施しています

「膀胱癌に対する^{ろぼつとしえんふくくうきょうかぼうこうぜんてきじょじゅつ}ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術の有用性・安全性についての検討」

の臨床研究を行っています。

膀胱癌のうち病気が筋層に達しているあるいは今後筋層に達する可能性が高い患者さんに対して、当院では身体への負担が少ないロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術を実施しています。この手術は日本では保険診療となっておりません。そのため、治療経過や有害事象などを調査し、この手術の安全性を検証する必要があります。

これまでの診療記録を集計しますので、新たな質問や検査は必要ありません。

この調査では、担当者が当院で膀胱全摘除術（ロボット支援手術、開腹手術いずれの方も対象）を受けた膀胱癌の患者さんのカルテ（診療記録）を確認し、当時の症状や治療経過、検査の値などについての記録を集計させていただきます。

お名前や個人情報がでることは、一切ありませんが、成果は公表されます。

必要な情報のみを統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。また、この研究で得られた重要な成果は、参加者の個人情報が保護された形で、学会での発表や学術論文等を通じ、広く世の中に公表する予定です。

この調査にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。診療記録の使用をお断りになる場合は、2022年3月31日までにお申し出ください。その場合は、下記担当者にお申し出ください。

研究終了後のデータ

匿名化された研究のデータは、関連する他の研究で二次利用することがあります。その場合は、改めて倫理委員会の審議を受けて実施します。

〒230-0012 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1 電話 045-576-3000

済生会横浜市東部病院腎泌尿器センター

泌尿器科医長・石田 勝